

かきはる

由布市立庄内中学校
学校通信 第4号
2021/8/6 発行
文責 首藤 茂

1 学期終業式

7月20日(火)に1学期の終業式が行われました。最初に各学年と生徒会の代表から1学期の反省が述べられました。続いて、1学期を振り返って、「コロナ禍の中、みんなで感染対策に気をつけ、3年生を中心に生徒会活動や各種行事に積極的に頑張ったこと、学習面では、授業で学んだことを自分の言葉で書けるように頑張ろう。」と式辞を述べました。



3年生代表 高橋蓮さん

【各学年・生徒会代表の1学期の反省】

1年生代表(角田佐衣さん)

みんなで協力できるようになってきたので、進んで発言して意見を言い合えるように心がけたい。

2年生代表(麻生瑛太さん)

先輩としての自覚が芽生えてきて、授業中に積極的に取り組むことができている。

3年生代表(高橋蓮さん)

以前に比べて学習意欲が出てきた人が増えた。全校のリーダーとして学校を動かしていきたい。

生徒会代表(衛藤勇さん)

挨拶で全校生徒が結びついていきたい。全校生徒が参加するボランティア活動にしていきたい。

PTA 研修会(講演会) 竹下幸喜さん「子どもが輝くほめ達の魔法」

7月9日(金)にPTA 研修部主催で講演会が開催されました。「ほめ達」で有名な竹下幸喜さんを講師に迎え「子どもが輝くほめ達の魔法」の演題で話をさせていただきました。

ほめ達になる1つの方法「目を見て、うなずいて聞いてあげること」や、「でも・・・」、「だって・・・」、「どうせ・・・」という「必要のない3D言葉」はできるだけ使わないで、「だからこそ・・・」という「アイデアが出る1D言葉」を使っていくこと等、周りの人を笑顔にできそうな多くの話をしてくださいました。



とても元気の出る講演会になりました。お世話をいただいたPTA 研修部の皆様、本当にありがとうございました。